

5年 単元名「自己紹介をしよう！～自分をアピール大作戦～」

本時の目標

自己紹介の表現（好きな物、欲しい物などを表したり尋ねたりする）や活字体の文字に慣れ親しむ。

○本時の授業分析

<活用する英語表現に十分に慣れ親しませる（定着させる）活動>

- ・今までに行った自己紹介を振り返り、慣れ親しんできた自己紹介の表現はどのようなものがあるか再確認させると共に「Hello, everyone!」の単元で扱う表現に触れ、自分の伝えたいことへとつなげ慣れ親しもうとする意欲を持たせる。
- ・様々な人物の性格や様子を表すイラストを用意し、その中の人物になりきって自己紹介をする場を仕組む。
- ・自分の名前を紹介する表現をカードに書いて読む。

○自分たちが行ってきた定型の自己紹介の表現にあわせて、今までに学んできた表現をALTとHRTとのやりとりや、ICTでの映像を通して聞いたり確認したりして、自己紹介の表現をひろげることができた。

○「なりきり自己紹介クイズ」は、イラストから情報を取り出して“I like ~.” “I have ~.” “I want ~.” の表現を組み合わせ、児童が思考しながら表現することで、さらに慣れ親しませることができた。

△4線の上に“My name is ~”の表現でピリオドを書き忘れていたことをそのまま児童に伝えてしまった。英語表現を書く時の条件を、意図的に気付かせる活動を仕組むべきであった。



<児童が「会話を継続させる」ことができるコミュニケーション活動の設定の工夫>

- ・「新しいALTの先生」に「自分をアピールする」というゴールを設定し、自分や相手の情報をより詳しく伝え合う意欲を持たせる。
- ・話す活動である自己紹介の「発表」の後に質問タイムを設け、即興的にそれに答える活動を仕組む。

○これまでの自己紹介で相手に伝わったことが実感できた場面を振り返り、表情やジェスチャー、うなずきや繰り返し等が効果的であることを確認することができた。また、“Do you like ~?”などの呼びかけを行うことで、それに応える姿につなげることができた。

○「なりきり自己紹介」後に、HRTの質問に答える場面を設けた。また、「なりきり自己紹介クイズ」では、聞く側の児童が質問をし、それに答えるというやり取りの姿につなげることができた。新しいALTに自己紹介をした後の質問タイムでもやり取りする姿につながるのではないかと考える。

△積極的に質問をする姿につなげるには、質問したくなる内容を提示すること、また、日々の学習においても疑問を持つ態度の育成につながる学習活動を仕組んでいく。



<その他>

○何も指示を出さなくても文字を写そうとする児童の姿が見られ、アルファベットを書くことに興味をもって慣れ親しんでいる。

○ALTと英語でスムーズにやりとりをしている児童の姿が見られ、英語でやり取りすることに日頃から慣れ親しむことができています。



今後の取組

- ・児童が思考し、表現を選択しながら慣れ親しませる活動の工夫
- ・単元で扱う表現だけでなく既習事項の表現も活用しながら、会話を継続したくなるような場の設定。